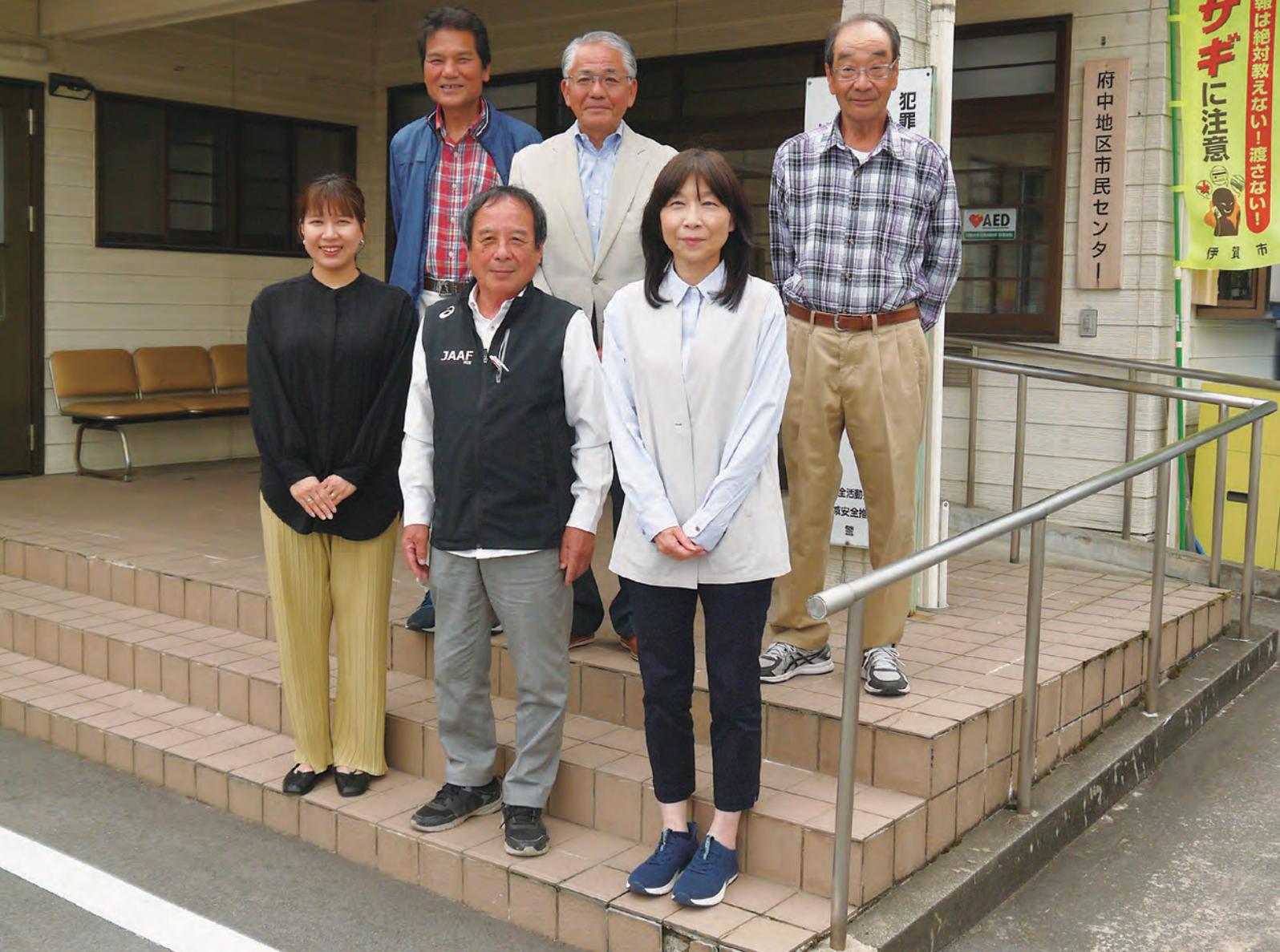


# 伊賀市議会だより

No.82  
2025.8.1

## 行ってみよう 聞いてみよう!



### <主な掲載内容>

4月・5月緊急会議	.....	P 2
6月定例会会議	.....	P 3
市政を問う 一般質問	.....	P 7
活動報告	.....	P13
インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介	.....	P16

府中地区住民自治協議会

前列左から 市民センター事務員  
市民センター所長  
生涯学習支援員  
後列左から 副会長  
会長  
副会長

なかばやし かな 中林 佳奈さん  
たなか えいいち 田中 栄一さん  
しるもと みゆき 城本 みゆきさん  
まつた しのぶ 松田 忍さん  
ふじもり よしはる 藤森 佳治さん  
いしはら かづみ 石橋 勝美さん

## 学習者用端末の買入れ

全員賛成で  
可決

GIGA スクール構想の推進に向けて、令和2年度に購入した児童生徒の1人1台端末を更新するため学習者用端末を買い入れます。

質疑（教育民生常任委員会 4月18日）

問 クロームデチャタブルを選んだ理由は、またグーグルクロームのセキュリティは。

答 以前から使用しておりキーボードとタブレット部分の取り外しができ非常に便利だったことから選定しました。またグーグルクロームのセキュリティは非常に高いと聞いています。

問 対象学年は国で定められていますか。

答 国の推奨に基づき、伊賀市教育委員会では小中学校義務教育9年間を対象と捉えています。

## 伊賀流忍者体験施設の設置及び管理に関する条例の制定

全員反対で  
否決

にぎわい忍者回廊 PFI 事業の伊賀流忍者体験施設の開業を8月に控え、施設の設置及び管理に関する条例を制定します。

質疑（産業建設常任委員会 4月18日）

問 忍者体験施設の利用料金上限金額1万円の算出根拠は。利用料が高額すぎることで集客に苦戦したり、周辺の回遊への悪影響はありませんか。

答 他の忍者体験施設と比較しても他では体験できないような施設であると考えています。条例の金額は上限額であり、他の施設とも連携し、まちなかへの回遊を促す事業も検討します。

問 事業者の事業計画や利用料設定の根拠等は市と事業者で共有できていますか。

答 現時点では共有できておらず、事業開始までに早急に事業者から運営計画を提出してもらいます。

## 討論（本会議 4月18日）

反対 利用料金上限1万円、開館時は6,000円という金額設定の根拠を市民に説明するための情報が説明において不足しています。

反対 民間事業者の独立採算制であるPFI事業の内容について市議会として指摘する立場にはありませんが、公共事業である以上、市と事業者が共通の計画・目標をもち同じ目線で事業目標達成に向けて努力する必要があり、現時点での情報ではその姿勢が見えません。

反対 本施設で実現しようとする市民と施設の関係性づくり、まちづくりに関するビジョンが不明確であり、さらに経済効果、忍者に対する誇りや愛着等の醸成といった無形の効果どちらも効果に向かう道筋が不明確です。

## 伊賀流忍者体験施設の設置及び管理に関する条例の制定

賛成多数で  
可決

にぎわい忍者回廊 PFI 事業の伊賀流忍者体験施設の設置及び管理に関する条例について、4月緊急会議での意見を踏まえ、内容の一部を見直し制定します。

質疑（産業建設常任委員会 5月23日）

問 市として事業者提出の入込目標数は達成できると考えていますか。

答 事業者は忍者の聖地にふさわしい施設を造っています。様々な業種に波及効果が表れるよう、市として最大限サポートします。

## 討論（本会議 5月23日）

賛成 この施設のみならず、上野城と市街地の施設を点から線に、面にしっかりと回遊ができる施策をこれから市がしっかりと助言指導を行い、この施設が20年間多くの方々がりピーターとしても訪れていただけるようなものにする役割をしっかりと行っていただくことを期待します。

反対 PFI事業の成否を決める要求水準書が曖昧でどのようにサービス水準に合っていると判断できるのか、20年先に残されるこの体験施設というものが後世の市民の負担にならないのか等が不明です。



## 伊賀市地区市民センター条例の一部改正

全員賛成で  
可決

島ヶ原地域の活動拠点となっている島ヶ原地区市民センターを令和8年4月から現在の島ヶ原会館の位置に移転するため条例に定める位置を「島ヶ原 4696 番地 9」から「島ヶ原 4739 番地」に改めます。

質疑（総務常任委員会 6月17日）

問 地域説明会の際に出た意見とその対応は。

答 照明のLED化の要望があり、今後まちづくり協議会と話し合いをします。

問 駐車場から施設へ道路を横断する際の安全対策は。

答 横断歩道が設けられていますが、駐車場の点検を行い、必要な対応をします。

問 活動拠点としてエレベーターの必要性をどう考えていますか。

答 移転先の建物は、事務所は1階、2階へは道からスロープを渡って直接入れるようになっていますが、今後、利用者の声をお聞きしながら必要な整備の検討を行っていきます。

## 伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正

賛成多数で  
可決

国の指針に基づき余裕教室を活用し、島ヶ原放課後児童クラブを島ヶ原小中学校内に移転することから、条例に定める位置を「島ヶ原 4696 番地 9」から「島ヶ原 514 番地 2」に改めます。

質疑（教育民生常任委員会 6月19日）

問 移転先の環境整備はどのように考えていますか。

答 学校との協議は終了し中学校1階のコンピューター室を活用する予定です。体育館や図書室などの活用も新たな事業者決定後に学校と協議していきたいと考えています。

問 児童が学校内のクラブエリアに間違えて入ってしまうことはないですか。また学校で実施する場合、管理の負担も変わると思いますが事業者や保護者との打ち合わせは行いますか。

答 学校部分と児童クラブ部分をベルトパーテーションで区切り、支援員が注意しながら見守っていききたいと考えています。事業者や保護者と協議が必要だと考えています。

討論（本会議 6月26日）

反対 放課後児童クラブの学校施設利用には管理区分や責任体制の明確化が必要です。学校部分との仕切りが、ベルトパーテーションでは不十分であり、子どもたちが安全にのびのび過ごせる場になりません。

賛成 施設管理をしっかりと行っていくという事なので賛成します。

## 伊賀市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

賛成多数で  
可決

保育所等による地域の子育て支援機能を強化するため、島ヶ原子育て支援センターを島ヶ原保育所内に移転することから、条例に定める位置を「島ヶ原 4696 番地 9」から「島ヶ原 4736 番地」に改めます。

質疑（教育民生常任委員会 6月19日）

問 保育所への移転は国の指針ということだが他の選択肢の検討や庁内議論はありましたか。

答 地域の子育て支援を保育所とともに行うことが望ましく、将来の保育所入所への移行も見据えて保育所内が適切と判断し、安全面からも単独設置ではなく島ヶ原保育所へ移転することが望ましいと判断しました。

討論（本会議 6月26日）

反対 保育所と子育て支援センターとの協議はこれからということですが現場では不安の声もあがっています。納得、合意ができていない状況での条例改正には賛成できません。

## ワンタッチパーテーション及び折り畳み式簡易ベッドの買入れ

全員賛成で  
可決

令和6年能登半島地震の災害対応等を踏まえ、避難所での良好な生活環境を確保するため、防災用簡易テント「ワンタッチパーテーション」780張、「折り畳み式簡易ベッド」780台を購入します。

質疑（総務常任委員会 6月17日）

問 ワンタッチパーテーション780張の根拠は。

答 市内39の住民自治協議会に対し各20張として算出しました。

問 保管場所は、各住民自治協議会の防災倉庫とするのですか。

答 しらさぎ運動公園防災倉庫と伊賀消防署西分署防災倉庫の2箇所への保管を考えています。



ワンタッチパーテーションと  
簡易ベッド

## 小型動力ポンプ付軽積載車の買入れ

全員賛成で  
可決

伊賀市消防団車両更新計画に基づき、配備後24年から25年が経過している消防団車両7台を更新するため、小型動力ポンプ付軽積載車（トラックタイプ4台、デッキバンタイプ3台）を購入します。

質疑（産業建設常任委員会 6月18日）

問 車両更新は必要ですが、消防団員の負担とならないような適正な車両配置であるか、実態の調査が必要です。調査を行うことは可能でしょうか。

答 第4次伊賀市消防団活性化計画の策定に向けて大切なことは、現場の方の声を聞くこと、地域の方の声を聞くことだと思っています。消防団幹部の方と協議をして、どのように進めるか、検討していきます。

問 消防団車両更新計画の進捗状況は。

答 現在20年以上経過した車両は、100台のうち57台であり、そのうち7台を本年度更新します。今後計画に基づき令和9年までに25台を更新しても、20年以上経過した車両は54台となる現状です。

討論（産業建設常任委員会 6月18日）

賛成 車両更新は必要なことであるが、適正台数の検討は第4次伊賀市消防団活性化計画に向けてだけでなく、第3次の計画期間内でも台数の変更や更新について見直ししながら行うことを願います。

## 指定管理者の指定

賛成多数で  
可決

令和7年8月開業予定の伊賀流忍者体験施設の指定管理者に、(株)伊賀市にぎわいパートナーズを指定します。指定の期間は、令和7年8月1日から令和25年3月31日までの17年8か月間です。

質疑（産業建設常任委員会 6月18日）

問 当初の開業予定日から60日以上過ぎていますが、契約書はどうなっていますか。

答 供用開始予定日の遅延というところで遅延損害金等の条項があり、現在協議をしています。

問 指定管理のモニタリング体制について、8月末から忍者体験施設が稼働しますが、最初のモニタリングの時期はいつですか。

答 旧市庁舎と併せて、協議会を立ち上げて実施します。モニタリングの明確な時期は決定していませんが、定期的に協議会を開催し、年4回程度を予定しています。

討論（産業建設常任委員会 6月18日）

賛成 中心市街の賑わいや観光振興等、市の経済にとっても重要な位置付けの案件です。今回の長期間の契約が、契約して終わりではなく、施設の利用者の動線や回遊に対して、行政がするべきことは何かを考え、関係団体としっかり協議し実行していただくことを期待します。

反対 長期間の契約はやむを得ないと思うが、年間12万人の来客が17年間も続くかどうか疑問です。指定管理について途中で見直すことが可能であるとの答弁があれば賛成できますが、長期間順調にやっっていけるのか心配です。

討論（本会議 6月26日）

反対 公共サービスの中で観光施設をPFI事業で行うこと自体がふさわしくありません。

【主なもの】

○市有財産管理経費 伊賀市公共施設等13か所に節水器具設置費用	252万円5千円
○普通財産管理及び取得事業 「旧上野ふれあいプラザ」の売買契約に係る返還金	721万円
○交流促進施設維持管理経費 「道の駅あやま」のエアコン取替工事費	3,132万8千円
○空家等対策推進事業 倒壊の危険が迫っている空家について緊急代執行による建物除却工事費	504万9千円

【発議第10号】 議案第68号「令和7年度伊賀市一般会計補正予算（第2号）」に対する修正案

賛成多数で  
**可決**

本議案において提案されている「旧上野ふれあいプラザ」の売買契約に係る返還金については、現時点において、伊賀市として当該施設を今後どのように活用していくのか、その構想やビジョンが明確に示されておらず、市としての長期的な方針や伊賀市全体の市民ニーズとの整合性も見えておりません。また、施設の解体や再整備を前提とする場合には、数億円単位の追加負担が生じることが見込まれるうえ、相当の時間と手間が必要となることが想定されます。

現段階で具体的な利活用計画が未定のまま、市民の大切な財源を投じることは、慎重な行政運営の観点からも問題であると考えます。

以上の理由から、今回の予算計上は時期尚早であるため修正削除を提案します。

討 論（本会議 6月26日）

賛 成

本市においては現在、老朽化する公共施設の維持更新・子育て支援・医療福祉・地域交通と緊急の課題が山積しております。限られた財源をどこに優先的に投じるかを、伊賀市そして当議会が問われています。具体的な構想のないままに予算計上をして土地を取得することは、現時点においては時期尚早であり財政的にも政治的にも妥当性を欠くものです。

反 対

行政が民間に事業を丸投げして、その進捗に関与も参画もできない状態になってしまいました。市民参加でのまちづくりの実現性というのが、民間に任せることで余計に乏しくなり、また余計な時間がかかると危惧します。これ以上延期になれば伊賀市全体の商工観光業、また地域の暮らしやすさへの悪影響があると考えます。



【議案第68号】 令和7年度伊賀市一般会計補正予算（第2号）

（発議第10号で修正議決された部分を除く）

全員賛成で  
**可決**



【再議】

令和7年6月定例会議会において修正可決された「議案第68号 令和7年度伊賀市一般会計補正予算（第2号）」について、以下の理由により異議があるため、地方自治法第176号第1項の規定に基づき、再議に付する。

「旧上野ふれあいプラザ」は、にぎわい忍者回廊プロジェクトに基づき中心市街地の賑わい創出に向けて、上野公園から忍者体験施設周辺の城下町エリアを結ぶ動線をにぎわい忍者回廊と位置づけ、公民連携手法によりこれまで面的整備を進めてきている。更に、本年2月に上野西部地区住民自治協議会に「旧上野ふれあいプラザ」の現状について説明した際には、「市として、市の価値を上げる努力を、賑わいをつくっていくことは住民とも相談しながら、市の価値が上がるような取り組みを考えていただきたい。」との要望があったところである。また、「旧上野ふれあいプラザ」の活用を制限なく民間に委ねることは、内閣府の認定を受け事業を進めている第3期中心市街地活性化基本計画に大きな影響を及ぼすことも懸念されるとともに、中心市街地の市民生活に大きな影響を与えると思われる。

※【再議とは】 議会の議決に異議がある場合、市長が議会に対して審議と議決のやり直しを求めるもの。



再議により修正された補正予算（第2号）は否決となり、全員賛成で原案が可決となりました。

## 審議した議案と各議員の賛否

### 4月緊急会議

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 -：赤堀議員は議長のため採決に入っていません。

件名		賛成 反対	議決 結果	浅川 友和	内原 篤	大石 亮子	陶山 美佐	寺村 京子	山口 康子	北山 太加視	西田 方計	森中 秀哲	福村 教親	森川 徹	北森 徹	西口 和成	福岡 正康	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	上田 宗久	百上 真奈	中岡 久徳
市長 提出議案	令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第1号)	20 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊賀流忍者体験施設の設置及び管理に関する条例の制定	0 : 20	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	○	×	×	×
	学習者用端末の買入れ	19 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	退

### 5月緊急会議

○：賛成 ×：反対 -：赤堀議員は議長のため採決に入っていません。

件名		賛成 反対	議決 結果	浅川 友和	内原 篤	大石 亮子	陶山 美佐	寺村 京子	山口 康子	北山 太加視	西田 方計	森中 秀哲	福村 教親	森川 徹	北森 徹	西口 和成	福岡 正康	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	上田 宗久	百上 真奈	中岡 久徳
市長 提出議案	令和7年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊賀流忍者体験施設の設置及び管理に関する条例の制定	18 : 3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×

### 6月定例会会議

○：賛成 ×：反対 -：赤堀議員は議長のため再議を除く採決に入っていません。

\*地方自治法176条第3項の規定により、出席議員の3分の2以上の同意が必要

件名		賛成 反対	議決 結果	浅川 友和	内原 篤	大石 亮子	陶山 美佐	寺村 京子	山口 康子	北山 太加視	西田 方計	森中 秀哲	福村 教親	森川 徹	北森 徹	西口 和成	福岡 正康	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	上田 宗久	百上 真奈	中岡 久徳		
市長 提出議案	伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正	20 : 1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
	伊賀市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	20 : 1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
	指定管理者の指定	18 : 3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×		
議員 提出議案	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	17 : 4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○		
	日本政府に核兵器禁止条約の早期批准を求める意見書	10 : 11	否決	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×		
市長 提出議案	議案第68号 令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)に対する修正	13 : 8	可決	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
市長 提出議案	令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)(発議第10号で修正議決された部分を除く)	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第68号 令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)(発議第10号で修正議決された部分を除く)	14 : 8	否決 *	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
市長 提出議案	令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)(修正前の原案)	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<b>全員賛成で可決した議案(補正予算を除く)</b>																											
市長 提出議案	●伊賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正													●委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正													
	●伊賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正													●ワンタッチパーテーション及び折り畳み式簡易ベッドの買入れ													
●伊賀市地区市民センター条例の一部改正													●伊賀市指定ごみ袋の買入れ														
●伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正													●小型動力ポンプ付軽積載車の買入れ														
●伊賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正																											

### 6月緊急会議

○：賛成 -：赤堀議員は議長のため採決に入っていません。

件名		賛成 反対	議決 結果	浅川 友和	内原 篤	大石 亮子	陶山 美佐	寺村 京子	山口 康子	北山 太加視	西田 方計	森中 秀哲	福村 教親	森川 徹	北森 徹	西口 和成	福岡 正康	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	上田 宗久	百上 真奈	中岡 久徳
市長 提出議案	令和7年度伊賀市一般会計補正予算(第3号)	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	損害賠償の額を定め、和解すること	21 : 0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 市政を問う

## 一般質問

一般質問は、6月12日、13日、16日の3日間で、18人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。  
二次元コードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

ももい ひろこ  
**桃井 弘子** 議員

### 質問項目

- 自治協との協働と役割分担
- 伊賀市の経営
- キャリア教育



**問** 包括交付金のあり方を見直すべきでは

人口が減少している地域でも自治活動はされています。包括交付金の半分は均等割、残りは活発に活動されている住民自治協議会に多めに配分する実績割にすべきでは。評価による対価は必要であり、あり方を見直す時期だと思いますが見解は。

**答** 検討委員会で検討します

社会情勢が大きく変化しています。今の時代に合った交付金制度を検討します。

※キャリアパスポート

小学校から高等学校までのキャリア活動を通じて学習やキャリアを振り返り自己評価するための記録

**問** 非認知能力を育てる教育をすべきでは

非認知能力、つまり意欲・自信・忍耐力・協調性等、数値化しにくい心の面に關わる教育はあまりしていないように思います。キャリアパスポート\*も使用し、自己の内面と対峙する、非認知能力を育てる教育をすべきでは。

**答** 大切な子ども達のキャリアパスポートを活用し改めて丁寧に指導していきます

低学年の頃から非認知能力を育てる事で、認知能力も育っていく。キャリア教育はまさにその場です。

**問** こども家庭センターなんでも相談ダイヤルとは

「0595-41-0932」の専用ダイヤルを利用できる方を教えてください。

**答** 気軽に相談できる窓口です

伊賀市の妊産婦、18歳までの子どもを育てる家庭の保護者やお子様ご自身から子育てや家庭での悩み、子育て支援のサービスや制度に関するあらゆる相談をお受けいたします。

**問** 不登校児童の安心な学び場所と支援員拡充はできますか

現在2中学校にしかない校内教育支援センターを全校に増やしてはどうですか。人

材は各校の教育相談員の勤務日数を増やして対応可能かと考えますが、予算は確保できますか。

**答** 誰一人取り残されない不登校対策を進めていきたい

不登校児童生徒が社会的自立に向け、次のステップに行くための居場所を増設できるように予算の確保も含めて取り組んでいきたいです。

**問** 団員確保のための消防本部の役割は

消防団と地域の連携をすすめるには。

**答** まず課題を把握します

関係者と対話を進めていきたいです。

あさかわ ともかず  
**浅川 友和** 議員

### 質問項目

- こども家庭センターなんでも相談ダイヤルの周知
- 不登校児童の安心な学び場所と支援員拡充の提案
- 新規消防団員確保のための地域との連携の必要性



てらむら きょうこ  
**寺村 京子** 議員

### 質問項目

- 未満児（0、1、2歳）保育の私的待機児童対策の進捗
- 小学校のプール授業の今後のあり方
- ふるさと納税の今後



**問** 未満児私的待機児童対策は地域別に迅速に対応を

今年度の0-2歳の保育申込率は人口の67%と昨年度より上昇しており、4月時点の私的待機児童は35名。特に上野地域中心部に偏在する私的待機児童へどう対応しますか。

**答** 重要課題として取り組みます

地域別の保育必要定員の充足に向け様々な手段を検討し取り組みます。

**問** 小学校のプール授業の民間移行をより早期に進めては

熱中症アラートでプール授業が実施できない気候状況や教員の負担軽減の観点で

プール授業の民間委託が文科省でも勧められています。

**答** 民間移行をあらゆる方法で推進します

現実実施校は5校。実施拡大のための課題解決に努めます。

**問** ふるさと納税をより地域振興に貢献させるには

昨年度7.5億円という実績は戦略的に取り組まれた結果でしょうか。

**答** 取り組み改善し伸長めざします

昨年度の寄附額は過去最高額ですが、制度全体の伸長もあり、取り組みには改善の余地があります。さらなる伸長をめざします。

# 一般質問

うえだ のりひさ  
**上田 宗久** 議員

## 質問項目

- 伊賀米の未来
- 伊賀流住民自治の進展と今後の課題



## 問 伊賀米の持続的生産のため、将来的な考えは

集落営農組織などでも、組織の代表者や構成員の高齢化が進んでいます。

中山間地や棚田地も「夢のある農業・若者の担い手」が必要です。

ほ場整備された農地では大型機械を導入し一区画の耕作面積を拡大する「再ほ場整備」や用水路整備の労務を軽減する「パイプライン化」が将来必要となると考えます。

伊賀米生産の現状と将来についてお聞かせ下さい。

## 答 耕作ほ場の拡大と効率化に向けて

市内には66の農業法人があり、このうち50ha超の大規模な法人は11団体と把握しています。

農地中間管理機構関連農地整備事業は採択要件を全て満たせば、ほ場整備に伴う工事費について地元負担金がかからない事業です。

「再ほ場整備」と併せたパイプライン化も有効ですが、採択要件及び補助率については地域の特徴ある地形条件や課題を把握し、詳細については地域の方々との協議の上、最善の解決策を提案していきます。

## 問 PTAについての認識は

## 答 学校運営の重要なパートナーです

P T Aは児童生徒の健やかな成長を支え、学校と各種情報を共有し活動する重要な任意の社会教育団体です。児童生徒の減少やコロナ禍により、P T Aを取り巻く環境や活動は変わってきましたが、P T A活動の意義等を保護者と共同し活動を進められるよう校園長会議でも伝えていきます。

## 問 「地域学校協働活動」についての認識は

## 答 学校と地域が理念を共有し「地域とともにある学校づくり」を進めます

学校が地域に依頼する形での学校支援活動の実状から、地域・学校による双方向の活動をめざし、生涯学習支援員の活動や住民自治協議会との連携が深まるよう各種研修を充実していきます。

## 問 県立高校再編への認識は

## 答 多様な背景をもつ子どもに対応できる高校再編を求めます

県立高校は県内どの地域の子どもたちにも中等教育を保障するのが原則です。伊賀地域で必要な学びについてもしっかり求めていきます。

にしだ みちかず  
**西田 方計** 議員

## 質問項目

- 「学校みらい構想基本計画」の背景にある社会教育への認識を問う
- 県立高校再編に対する伊賀市の認識を問う



やました のりこ  
**山下 典子** 議員

## 質問項目

- 働きやすい職場環境
- マイナ保険証
- J-クレジット制度活用による森林整備
- 集会所の耐震化



## 問 マイナ保険証のデジタル弱者に対する対応を

昨年6月定例会議で伊賀市議会から国に「マイナ保険証におけるデジタル弱者への適切な対策を求める意見書」を提出しました。認知症や高齢者、要介護者等デジタル弱者に対する対応を。

## 答 個別に対応しています

必要に応じてマイナ保険証の解除申請や、資格確認書の発行申請を受付するなどしています。

## 問 集会所の耐震診断や補強に対する補助を

集会所は様々な地区行事等のコミュニ

ティ活動、有事の際の一時立ち寄り所として非常に大切な場所になります。集会所の耐震状況を把握するとともに、集会所の耐震診断や補強プランに対する補助が必要です。

## 答 有益な支援策の検討を進めます

令和2年度の実態調査から247自治会にある352ヶ所の集会所のうち、旧耐震基準である1981年以前に建てられた集会所は183ヶ所で約52%でした。集会所が耐震基準を満たしているかどうかは重要であると認識しているので、支援策の検討を進めます。

☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

# 一般質問

みやざき えいき  
**宮崎 栄樹** 議員

## 質問項目

- 持続可能な住民自治に向けて
- 公営住宅長寿命化の今後と転居を求められる入居者への対応は



## 問 「住民自治のあり方の検討」をどう進めるか

昨年9月定例会議において、「未来を見据えた住民自治のあり方について議論していく時期に来ている」との答弁があり、これまでの20年を検証する方向性が示され、住民自治協議会のヒアリングが行われていますが、今後の進め方をうかがいます。

## 答 検討委員会を設置します

ヒアリングの内容や地域別の人口等の客観的なデータをもとに過去20年間を検証し、今後の住民自治のめざす姿を検討委員会で審議していきます。

## 問 自治会運営に対する支援策は

少子高齢化や人口減少が進む中、自治会は見守りや防災など地域の公共を担う重要な役割を果たしていますが、担い手不足や事業継続の難しさも生じています。そこで、相談・伴走型支援の充実が必要と考えますが、どのような支援を行いますか。

## 答 地域に寄り添います

住民が自らの地域の将来を考えるためのコーディネートなど、地域担当職員が自治会に寄り添い支援をしていきます。

## 問 人口減少対策は

伊賀市の人口減少に対してどのような取り組みをしてきましたか。

## 答 様々な取り組みをしています

伊賀市では男女問わず、誰もが働きやすい街への取り組み、また安心して子どもを産み・育てる事ができる環境整備、また伊賀市に生涯住み続けたいと思えるための生活基盤の整備に取り組みながら伊賀市の魅力を伊賀市公式YouTubeやSNS等を活用、発信する等し、人口増加へむけた様々な取り組みを行ってきました。

## 問 若者への経済的支援を

国の事業『地域少子化対策重点推進交付金』を活用した結婚新生活支援事業を伊賀市で実施できないですか。

## 答 慎重な検討が必要です

新居の費用を補助し、結婚に伴う経済的負担を軽減するための事業で少子化対策の一環として行われている当該事業の最終的な成果は、子どもの数の増加です。しかし、事業の成果が十分に見えにくい実態があり、少子化対策として事業を展開していく事は慎重に検討する必要があります。

うち原 あつし  
**内原 篤** 議員

## 質問項目

- 減り続ける若者と伊賀市の将来



きたもり とおる  
**北森 徹** 議員

## 質問項目

- 伊賀市が目指す幼児教育
- 中学生の部活動の意義



## 問 幼稚園は子どもも親も成長する場

幼稚園の雰囲気は、先生方の子どもたちに対する一生懸命な保育・幼児教育をしている姿を見て、保護者も関わってくるものです。

認定こども園になると先生方に負担が増えて幼児教育が担保できないのでは。

## 答 こども園化は保護者等の意見交換により検討します

認定こども園化、幼児教育の継続については、幼稚園教諭や保護者との意見交換により課題整理を行い、検討していきたいです。

## 問 生徒のスポーツに親しむ機会の確保を

今後ますます少子化が進む中、子ども達がやりたいスポーツが出来ない部活動になりますが、地域展開によって改善出来ますか。

## 答 地域展開でボリュームある活動を進めていきます

休日部活動の地域展開によって、子どもたちがやりがいのある活動ができることをめざして、今後も取り組みを進めていきます。

# 一般質問

すやま みさ 議員  
**陶山 美佐**

## 質問項目

- 介護予防・日常生活支援総合事業
- 災害時の自助具（高齢者、難聴者）
- 青山保健センター運動施設プール公募型プロポーザル



## 問 要支援者への訪問型サービスBの取り組みは

住民主体で高齢者の生活を支える制度です。支援する側の人材不足の解消だけでなく地域全体の介護予防にも繋がります。

## 答 今後は制度や仕組みの構築に向け進めていきます

訪問型サービスAとしてシルバー人材センターによりサービスを提供していますが、訪問型サービスBは介護予防や人材不足の解消に繋がる制度であると認識しています。

## 問 忍にん体操の再普及を

忍者の動きを取り入れた子どもから高齢者まで楽しめる体操です。さらなる普及を

するべきです。

## 答 市民と共に忍にん体操を進めていきます

介護予防に繋がる体操です。観光や多文化共生の取り組みと連携し普及をめざします。

## 問 青山保健センター運動施設プールの今後は

今もなお、市民は公共施設としての再開を望んでいます。

## 答 今後は公募型プロポーザルが予定されています

幅広く周知し施設のサービスの維持に繋げていきたいです。

## 問 包括的性教育における「生命（いのち）の安全教育」の取り組みは

包括的性教育とは、ユネスコなどが提唱している、人間関係やジェンダー平等、性の多様性、からだの権利といった人権尊重を基盤に幅広く年齢に応じて段階的、継続的に性を学ぶものです。誰もが被害者にも加害者にもならないために正しい知識が必要です。

## 答 年齢や段階に応じた取り組みを行っています

幼児期はプライベートゾーンについて学び、小中学校では学習指導要領を基に発達段階に応じてからだの変化、生殖に関わる機能などを学習しています。特別な支援が

必要な児童生徒には個々の状況に合わせて学習も行っています。

## 問 モデル校を指定するなど、市独自の先進的な取り組みを進める考えは

## 答 先進的な取り組みをしています

伊賀市の小中学校では、「生命（いのち）の安全教育」を人権教育カリキュラムに位置付けて取り組んでいます。成和西小学校では先進的に研究し、研究発表会で取り組みを発信しました。

やまぐち やすこ 議員  
**山口 康子**

## 質問項目

- 包括的性教育
- 伊賀市の公共バス制度間格差
- ツキノワグマ出没と対策



もりなか ひであき 議員  
**森中 秀哲**

## 質問項目

- 市民への説明責任を果たし、市民参加で進める「ごみ処理広域化」検討
- 中心市街地「旧ふれあいプラザ」跡地の早期活用を



## 問 新ごみ処理施設はいつからどこに

伊賀市は名張市・笠置町・南山城村と共に広域でのごみ処理を検討中です。

新しく施設を建設する時期と場所は、どうなっていますか。

## 答 令和16年操業目途に候補地選定へ

現処理施設の操業期限後、令和16年度から新施設での処理開始をめざします。候補地は今年から各市町村で絞り込み、学識経験者を含めた諮問機関で比較検討、その結果を踏まえて市町村長が決定し、速やかに候補地域に打診します。

## 問 旧ふれあいプラザ、早急に活用検討を

一旦売却した旧ふれあいプラザ（上野中町）は事業者の契約不履行により、市が買い戻す準備を進めています。市全体の視点である場所に何が必要か、一刻も早く考えましょう。

## 答 早期に検討を始めます（市長）

過去の失敗を重く受け止め、検討を急ぎます。中心市街地の顔として、有識者、まちづくりプランナーなど専門家、若い世代も含めた「参加と協働」の場を今年秋には立ち上げ、議論します。

☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

# 一般質問

にしぐち かずしげ  
**西口 和成** 議員

## 質問項目

- よりよい人権施策でまちづくりを
- 新生活スタートアップ応援事業



**問** 市民を不当な人権侵害から守り、救済に導くことがよりよいまちづくりに繋がりませんか

第4次伊賀市人権施策総合計画に、人権侵害を受けた人に対する相談体制の充実と救済措置制度の構築の必要性が明記されています。未然に防止する普及啓発と発生した場合の相談体制や救済制度の整備は、車の両輪と考えます。

**答** 専門家やあらゆる機関と連携し、相談窓口の拡充ができるよう様々な取り組みを検討します

お互いを尊重し誰もが輝く人権文化都市をめざして、仕組みやスケジュール感をしっかり整理し、スピード感をもって対応

します。

**問** 本事業に明記されている給付対象者の高校3年生世代が、なぜ18歳限定ですか  
救済措置を講じては

20名が高校3年生世代に含まれていません。最初から高校3年生18歳、中学3年生15歳とすべきです。

**答** 本事業は、あらゆる方を救済する事業ではありません

年齢の線を引かなければ収拾がつかなくなることから、18歳限定としました。(市長)

**問** 発生した差別事象を周知していますか  
また、本年度の差別解消の取り組みは

**答** 昨年度3件、今年度1件把握しています

内訳は、部落差別に関して3件、障がい者差別1件です。また、市民意識調査で人権研修に参加したことがない市民が52.8%という結果から、部落差別などに関する啓発動画を作成して、積極的な研修への参加を促します。

**問** 三田高砂地内における内水排水対策の進捗状況と水門操作の手順は

**答** 浅子川と高砂川の改修は完成しました

県管理の一級河川浅子川の改修工事は本年5月に完成、関連して市管理の高砂川の改修も終わっています。

浅子川水門の操作は消防団に委託、高砂川排水樋門は市に管理移管後、操作を消防団へ委託の予定です。また、高砂川の流末で洪水を一時湛水する三角形の遊水池(約1,000㎡)は市で管理し、滞水により堆積した土砂やゴミの処分は、地域と協議し処理を行います。高砂川に据える内水排水ポンプは令和7年度中の完成見込みです。

きたやま たかし  
**北山 太加視** 議員

## 質問項目

- 人権の取り組み
- 浸水被害対策の進捗



おおいし りょうこ  
**大石 亮子** 議員

## 質問項目

- こどもの権利と食育推進の視点から、保育所給食のあり方を問う
- 阿山地域の地域力を活かしたまちづくりへ～住民参画による公共施設の再利用を



**問** 保育所給食における脱脂粉乳提供と主食持参の見直しを

戦後から慣習的に続いている脱脂粉乳の提供や家庭からの主食持参は、子どもの食育や権利の観点から課題があると考えます。

**答** 前向きに検討していきます

脱脂粉乳の提供については、来年度から見直す方向で検討を進めていきます。代替として牛乳を想定していますが、飲めないお子さんには配慮していきます。主食持参の見直しについても、今年度中にニーズ調査を行い、前向きに検討していきます。

**問** 阿山地域の公共施設の再構築について提言と署名を受けた市の対応は

休止中の公共施設に関して、住民から提言書や署名が提出され、再開・活用を求める声広がっています。市はどのようにこの声を受け止め対応していくのか伺います。

**答** プロジェクトチームを立ち上げます

今後は庁内でプロジェクトチームを立ち上げ、早期に議論の場を設け、「参加と協働」の姿勢で市民の皆さんとともに検討を進めていきます。

# 一般質問

もりかわ とおる  
**森川 徹** 議員

## 質問項目

●これからの消防行政



### 問 消防署の統廃合の今後は

消防署の統廃合の計画が進められようとしているが、今後どのように変わっていく予定ですか。また、統合によるメリットが多いのであれば計画を前倒ししてでも早く実行することで住民サービスが向上すると考えますがいかがでしょうか。

### 答 2期計画で東分署と阿山分署の統合を進める予定です

統合分署は車両や人員数については現状のまま集約することとしておりますので、例えば1件目は現場到着時間が一部遅くなる場合もありますが、2件目は現在より確実に早くなるため、現場到着平均所要時間

に大きな差はないと考えています。更に本署に日勤救急隊を配置する予定ですので、各地域における消防力は大幅に向上すると同時に救急現場到着平均所要時間は1分弱短縮できるものと考えています。

本計画は場所が決まり次第可能な限り計画を短縮し、市北東部の防災拠点として市民の皆様が安心していただける施設となるよう整備を進めていきます。

### 問 生理用品配置場所の拡大を

市役所の女性トイレに生理用品を配置していますが、無償配布の考え方や設置場所の拡大についてうかがいます。

### 答 来年度から配置場所を拡大します

女性の生理はジェンダー平等問題として捉え、社会全体の理解、とりわけ男性の理解が必要な問題と考えています。7月から本格実施するとともに、来年度から未設置施設にも拡大します。さらに企業や事業所の理解を得られるよう協力を求めていきます。

### 問 減少するケアマネジャーの確保を

適切な介護サービスの利用を調整するケアマネジャーの人材不足が深刻です。ケアマネジャーを含む介護人材確保の取り組みをうかがいます。

### 答 負担軽減になる市独自の制度を検討します

来年度に向け、ケアマネジャーの負担軽減につながる市独自の新たな制度整備をすすめます。高校や就労相談など様々な機会を捉え、介護の仕事の魅力発信を行い確保につなげていきます。

ももがみ まな  
**百上 真奈** 議員

## 質問項目

- 地下水条例の運用状況と附帯決議
- 水道事業の現状と経営改革
- 子どもの権利を守る包括的性教育とジェンダー平等
- 介護保険サービス提供体制の充実



いちかわ がくと  
**市川 岳人** 議員

## 質問項目

●市長の政治姿勢



### 問 危機管理は十分か

市長が随員職員無しで自家用車を運転し公務を行う現状は、災害、事故、病気、テロ等有事の際の即応体制に不安があります。危機管理上の認識を伺います。

### 答 体制は確保済みです

事故等の際の連絡体制は整備済みで、副市長が職務を代行する体制も確保しています。安全には十分留意していきます。

### 問 公務と公務外の区別ができていますか

本会議中に職員に撮影させた公務用写真が、市長個人のSNSで使用されています。公的資源の私物化ではないですか。

### 答 自分の中では区分はできています

市政発信の迅速性が重要であり、公務と公務外の区分はしっかり整理できています。

### 問 政治的中立性が必要ではないか

「政治的中立性を貫くべき」と、市長は県議会議員時代に当時の知事に対し厳しく問いただしておられました。過去の自身の発言と矛盾することなく、市長として政治的中立性を貫くべきではないですか。

### 答 政治家としても、行政の長としても頑張っています

☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。



総務常任委員会

〈利用者増加！A I 活用で便利な地域交通を〉

茨城県久慈郡大子町 A I 乗合タクシー「たくまる」  
茨城県高萩市 呼出型最適経路バス「MyRideのるる」

令和7年5月20日（火）～21日（水）

人口1万6千人、茨城県北部の山あいの町・大子町は、令和3年から、地域住民と観光客の移動を便利にし、観光業・飲食業など地域経済の活性化を図る目的で、A I 乗合タクシー「たくまる」を導入しました。地域公共交通再編計画策定の際の住民アンケートで、新たな乗合タクシーの導入を望む声が多かったことがきっかけだったそうです。

複数の人が乗り合わせるタクシーで、事前にオンラインまたは電話予約し、町内に370箇所ある乗降場所に来てもらいます。料金は日中300円、夜間500円。小中学生の通学利用（無料）も一部で始まっています。大子町が運営しており、運行は地元のタクシー事業者。平日4台・休日3台体制で、効率的な運行管理のため、A I を活用したデマンド交通システムを導入しています。

一方、茨城県北部海岸にある高萩市は、朝夕は通勤・通学利用があるものの、昼間に利用者が少ない路線バスをもっと利便性を高めて有効活用する仕組みとして、呼出型最適経路バス「MyRideのるる」を導入しました。

こちらにも事前にスマホアプリまたは電話で予約すれば、市内96箇所ある通常のバス停に加えてあらかじめ設定した141箇所の「仮想バス停」までバスが来てくれます。料金は280円。65歳以上の市民は半額！

2つの自治体どちらも、「使ってみたら便利だった」というクチコミで導入以降じりじりと利用者数が増加し、台数増や運行日増にまで結び付いています。

アンケートで住民の意見を聴き取った上で、地域の民間交通事業者との協力関係を構築し、積極的にA I を導入して、住民の利便性を向上させていること、実証実験でいねいにデータを取って本格運行時に大きく改善を図っていることなど、学ぶところがたくさんありました。

地方都市や山間部での実践として、伊賀市での応用ができないものか、今後、さらに研究を進め、提言に結び付けていきたいと思えます。



たくまる



MyRideのるる

活動報告



地域意見交換会を開催しています

〈地域の声、議員と語ろう！〉

伊賀市議会では今年度住民自治協議会を対象に、市議会議員と市民が自由に情報及び意見の交換を行い、よりよい市政や政策提言につなげていくための地域意見交換会を実施しています。

議長を除く21人の議員を7班に分けて、地域にうかがっております。終了次第、順次報告をさせていただきます。それぞれの報告書は、市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

伊賀市議会ホームページ▶



玉滝 6月20日(金)

- ・空き家対策
- ・地域の農業



依那古 6月25日(水)

- ・地区市民センターの指定管理
- ・住民自治協議会の担い手不足
- ・消防団の人材不足



山田 6月30日(月)

- ・産業廃棄物最終処分場建設計画反対運動等
- ・地区施設の今後
- ・公共交通の今後



布引 7月11日(金)

- ・災害時の高齢者孤立不安



# 令和6年度の政務活動費を報告します

**交付の趣旨** 政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。

**交付対象と額** 請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。(月額2万円)

**報告** 交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。

**返還** 残額がある場合は、返還します。

**収支報告書写しの閲覧** 場所：議会図書室（市役所本庁舎5階）  
時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）

**ホームページでの公開** 収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。 [伊賀市議会ホームページ](#)  
二次元コード▶



## 令和6年度 政務活動費 議員別収支報告書 (令和6年12月1日～令和7年3月31日)

(単位：円)

議員氏名	交付額	交付対象額	残額	報告内訳						報告額合計
				調査研究費 <small>視察等の調査研究に関する経費</small>	研修費 <small>研修会等に参加する経費</small>	広報費 <small>活動、市政について住民に報告するために要する経費</small>	資料作成費 <small>活動に必要な資料を作成する経費</small>	資料購入費 <small>図書や資料等を購入する経費</small>	事務所費 <small>事務所管理に要する経費</small>	
浅川 友和	80,000	49,419	30,581	0	0	0	0	0	49,419	49,419
内原 篤	80,000	55,970	24,030	0	47,610	0	0	8,360	0	55,970
大石 亮子	80,000	14,997	65,003	0	0	0	0	14,997	0	14,997
陶山 美佐	80,000	7,700	72,300	0	0	0	0	7,700	0	7,700
寺村 京子	80,000	80,000	0	0	33,600	0	16,060	31,296	0	80,956
山口 康子	80,000	62,507	17,493	0	55,390	0	0	7,117	0	62,507
北山太加視	80,000	0	80,000	0	0	0	0	0	0	0
西田 方計	80,000	77,957	2,043	0	0	0	0	77,957	0	77,957
森中 秀哲	80,000	38,778	41,222	0	14,858	0	0	23,920	0	38,778
福村 教親	80,000	0	80,000	0	0	0	0	0	0	0
森川 徹	80,000	1,944	78,056	0	0	0	1,944	0	0	1,944
北森 徹	80,000	16,280	63,720	0	0	0	5,280	11,000	0	16,280
西口 和成	80,000	33,236	46,764	0	0	0	0	33,236	0	33,236
福岡 正康	80,000	70,101	9,899	44,065	0	5,000	9,750	0	11,286	70,101
宮崎 栄樹	80,000	69,133	10,867	0	0	0	0	43,754	25,379	69,133
桃井 弘子	80,000	0	80,000	0	0	0	0	0	0	0
山下 典子	80,000	4,000	76,000	0	0	0	0	4,000	0	4,000
市川 岳人	80,000	80,000	0	0	27,600	0	31,860	21,127	0	80,587
上田 宗久	80,000	80,000	0	0	0	75,548	5,280	0	0	80,828
百上 真奈	80,000	49,830	30,170	0	43,930	0	0	5,900	0	49,830
合計	1,600,000	791,852	808,148	44,065	222,988	80,548	70,174	290,364	86,084	794,223

※赤堀久実議員、中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。

※「広聴費」、「会議費」、「人件費」については全議員支出がなかったため、掲載していません。

# 令和7年9月定例会会議日程（予定）

会議期間28日間

日	月	火	水	木	金	土
8/31	1	2	3 本会議 (議案上程等)	4	5	6
7	8	9	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13
14	15 敬老の日	16 決算常任委員会	17 決算常任委員会	18 各常任委員会 (予算・決算 を除く)	19 各常任委員会 (予算・決算 を除く)	20
21	22 各常任委員会 (予算・決算 を除く)	23 秋分の日	24	25 予算常任委員会	26	27
28	29	30 本会議 (採決等)	10/1	2	3	4

- ・本会議、予算常任委員会、決算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、本会議初日に決定します。
- ・日程は、変更になる場合があります。

## 伊賀市議会 LINE 公式アカウント

伊賀市議会では、より一層の広報活動の充実を図るため、伊賀市議会 LINE 公式アカウントを開設し、伊賀市議会に関する情報を発信しています。ぜひ「友だち追加」をお願いします。

運用方針等は、伊賀市議会ホームページに掲載しています。本アカウントのご利用にあたっては、運用方針の内容に合意のうえ、ご利用くださいますようお願いいたします。

### アカウント情報等

- (1) ソーシャルメディアサービス名：LINE
- (2) LINE 表示名：伊賀市議会
- (3) LINE ID：@441kjazj

### 友だち追加方法

スマートフォンなどにLINEアプリをインストールして、次のいずれかの方法で「友だち追加」してください。

- ・方法1：メニューの公式アカウントから「伊賀市議会」で検索
- ・方法2：メニューの「友だち追加」で「ID検索」を選択して、「@441kjazj」と入力して検索
- ・方法3：QRコードを読み込んで「友だち追加」



## ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTubeをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、左記までお問い合わせください。



伊賀市議会  
ホームページ

伊賀市議会

検索

## 議員永年勤続表彰

第101回 全国市議会議長会 定期総会及び第108回 東海市議会議長会 定期総会において、中岡 久徳議員が永年勤続表彰を受け、議長からその伝達が行われました。

議員永年勤続30年特別表彰 中岡 久徳 議員



## 編集 後記

「伊賀市議会だより」は7名の議員からなる広報広聴委員会が編集し、みなさんにお届けしています。この委員会は「市議会がどんな活動をしているか。どんな議論があり、何が決まったのか」をお知らせする「広報」だけではなく、市民との意見交換の場を設ける「広聴」の企画実行も担っています。今年度も各住民自治協議会に向いて「地域意見交換会」（13ページ）を実施するほか、昨年度に続き1月には「中学生議会」開催も計画中です。これからも、市民に身近な議会、市民の思いと共に歩む議会をめざします。（森中秀哲）

次号は令和7年11月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

# 人と地域がつながって イキイキ 活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介する第9回。

今回は歴史遺産が多数現存、関西本線や名阪国道へのアクセスが良好、そしてスポーツに熱心な府中地区住民自治協議会を訪ねました。

## Q：地域の紹介をしてください。

A：府中地区は人口約4,000人、約1,500世帯で、佐那具工業団地、大型ショッピングセンターや新興住宅地、また昔ながらの農業地帯が広がる住みやすい地域です。市民センターは府中村役場跡にあり、小学校やいごっこ給食センター元気が隣接、病院やコンビニも多数あります。また、三重県最大の御墓山古墳や伊賀国庁跡、伊賀一之宮の敢国神社など歴史の舞台となってきた地域です。

## Q：伝統的にスポーツへの意識が高いそうですね。

A：住民自治協議会には6部会がありますが、その中でスポーツ部会は各区の体育委員会と強く連携しており、府中大運動会（今年は雨天中止）を運営しています。運動会は、区によって状況は違いますが各区対抗種目で盛り上がる府中で最大の行事です。総合型スポーツクラブも住民自治協議会で取り組んでいるのでバレーボールなど種目別の区対抗戦も盛んです。



年に一度、盛大に開催「府中大運動会」



子ども大喜び！地域のつながり「地域食堂」

## Q：他の部会の活動はいかがですか。

A：学習文化部会では地区文化祭を例年10月末に行っており、こちらで今年で30年目です。また健康福祉部会は、民生委員と連携し、年3回の地域食堂をしています。お米や野菜、肉など地域住民の協力も積極的で助かっています。今年は伊賀白鳳高校の皆さんにも協力を得ることでなっています。

## Q：地形的には災害が気がりでは。

A：河川や地すべりの防災には注意しています。各区で防災訓練をしていますが、関西本線北側の山麓は区を超えて「府中地すべり防止対策事業委員会」が設置されており、毎年7月に合同で避難訓練を行っています。

## Q：府中は歴史の要衝ですね。

A：府中には歴史遺産が多く、数年前に「府中ガイドマップ」を作り活用しています。文化財ウォーキングには地区内外から参加してくれます。今後、京都府や滋賀県方面から名阪国道へのアクセスのためにも、府中は重要な位置だと思っています。

## Q：指定管理の運用状況は

A：当初は労務関係の実務が大変でした。一方、柔軟な勤務体制が組め、何より住民自治協議会の仕事を充実させることができています。



整備が進む「史跡 伊賀国庁跡」